

糖尿病透析患者は全透析患者の約40%を占め、その患者生命予後はほかの腎原疾患透析患者より悪い。理由は、感染症、心血管系疾患の発症率が高く、またこれらが重症化しやすいためである。故に慎重な日常透析管理が要求される。

糖尿病透析患者の血糖管理は難しい。血液透析や腹膜透析の影響を受け、血糖値が変動しやすいためである。しかし近年、血糖管理に関しては、新しいモニタリング機器が登場し、連続して1～2週間の血糖管理がリアルタイムで可能となった。これにより血糖値の安定化が期待される。このような新規機器の利用には糖尿病専門医との連携が重要である。

近頃の血糖降下薬は急速な進歩を示している。皮下注あるいは経口薬の種類が増え、作用時間も短時間作用型から長時間作用型と幅広い薬剤が揃っている。残念だが、透析患者で使用できる薬剤

は限定されてしまう。そのためインスリンに依存することが多いが、血糖値が安定しない場合などは糖尿病専門医の力を借りる必要がある。

糖尿病透析患者の合併症は多岐にわたる。脳、眼、心、胸腹部大血管、下肢血管などの動脈硬化が進行しやすく、多臓器の合併症が同時に出現することもまれでない。故に、眼科医、循環器内科医、心臓血管外科医、脳神経内科医あるいは脳外科医などとの連携診療が必要である。よりよい合併症管理のためには、透析導入期から定期的な合併症管理に心がけ、重症化する前に専門医にコンサルトするタイミングを見逃してはならない。

この特集では、糖尿病透析患者の全身管理のノウハウと専門医との連携診療に焦点を置いて、日常診療に是非役立てて欲しい。

(西 慎一)

2023年(Vol. 39)特集のご案内

No.① 糖尿病透析患者の全身管理を極める
—専門医との連携を目指して

No. 2 血液透析導入の処方

No. 3 透析スタッフのメンタルヘルス

(既刊は○)

臨床透析® Vol.39 No.1

© 2023年1月10日発行

定価：2,860円

(本体2,600円＋税10%)

- ・2023年 年間購読料(増刊号含む13冊, 税込)
冊子版 39,050円
電子版(個人のみ) 39,050円
冊子版＋電子版(個人のみ) 44,550円
(詳しくはホームページをご覧ください)
- ・年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込みください。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail dialysis@nmckk.co.jp

URL <https://www.nmckk.jp>

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 シナノ印刷株式会社

・Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2023, Printed in Japan

・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・JCOPY<出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(☎03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

■広告申込所／株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-1 電話(03)3814-8541